

月刊 地球基地

今月のごあいさつ

こんにちは！アースベースのノザワです。すっかり町の光景も冬仕様、待つはサンタと新年ばかりという感じです。もともと、これを読んでいただく頃にはサンタは来た後かもしれませんし、なんならお年玉あげた後でしょう。気にせず12月真ん中くらいの感覚で読んでくれるあなたに感謝です。

サンタクロースは世界中にいるそうです。日本ではあの装いがお馴染み、コーラのCMで定着したそうです。

今回はいくつかの国のクリスマスを追ってみましょう。いえ、なんの義理もないのですがね(笑)。

○イギリス—サンタではなくファザー・クリスマス。服が緑。ファザクリさんが食べてくれるようにと、枕元にクッキーなどを置いて寝る(サンタ想いですね)。

○ロシア—1月に行なわれる。ジェドマロース(直訳で厳寒じいさん)というお爺さんが孫娘を連れてくる(妖怪?)。

○スウェーデン—13日も大切な日。オリーブの冠を被り、天使のような格好をした女の子が聖歌を歌う。聖ルチア祭という(光景が浮かびますね)。

○オランダ—2月の6日と25日の年2回開催(贅沢だね)。

○ドイツ—良いサンタと悪いサンタ(双子)がいる。良い子供には良いサンタがお菓子をくれるが、悪い子は悪いサンタが袋に詰め込んで連れ去るという。またそれを模した人形があり、お土産にもなっている(単純に怖い!)

○日本—一商売目的で全ての商品がクリスマス仕様になる。キリストの誕生日もへったくれもなくなっている。サンタのおじさんや若い女性、男性のコスプレ、もしくは仕事上での仮装などでサンタの姿は見かけるが、サンタのおばさんはまず無い。25日の夜、クリスマスの装飾を剥がしたり回収している様がむごたらしくまた見ものである(日本でクリスマス商戦はもはや別格ですね)。よい12月を!!



炭酸が所内にやってくる

12月某日、アスベ所内でクリスマスパーティーが開催されました。告知のポスターが貼り出された頃から一部のメンバーはわくわく。だってお酒が飲めるのだから(笑)。

パーティーは所内で開かれます。メンバーの中から選抜されたものが厨房(流し台)に立ちます。他の皆さんはお仕事。出来あがるのを待つばかり…といたいのはやまやまです。皆さんその先にあるアルコールが楽しみなのです。ならば全て出来合いの総菜などで済ませばいいじゃないか、と思われるでしょうが、「エコカンパニー」に選ばれている当所は、“もったいない”事はしないのです。手作り物のラインナップはケーキ(普通味とココアクリーム味)、ポテトサラダ、スパゲティナポリタン、コンソメスープ、生ハムチーズ巻き、シーザーサラダ、プチピザ etc. 出来合いはド○ノピザと唐揚げ屋さんの唐揚げ。いくつか料理が渋滞していますが、そこはご愛嬌(笑)。あとはお酒とジュース。宴会は始まり、あるものは唐揚げを肴にビールを傾け、あるものは取りすぎたピザに苦戦し、あるものはせっかく作ったスープを無視し、あるものは持ち込みしたジャックダニエルで出来上がり、下戸は酒飲み組を俯瞰で優しく見守り…出した料理より多種多様な人間が見られる宴会。慣れればおもしろいですね。慣れればですが…(笑)。



ではクリスマスらしく、宴会中の皆さんにサンタさんに何が欲しいか質問してみましょう。

「ハイボール飲みたい」「ビールとって」…勝手に飲みなさい。

「犬が飼いたい」「遅刻癖を直したい」…七夕じゃないぞ!!

「来季の巨人の…」「今度の有馬記念で…」「豊洲の…」

…メリークリスマス!! また来年もよろしく。



カップ麺戦争の終結

平成 27 年の『月刊地球基地 12 月号』のこのへんに記しましたコラム (?) のサブタイトルが《ぼくらのカップ麺戦争》。この中で“だばぁ事件”という記事を書かせていただいたのですが、この度、その心配がなくなりました。そう、容器がリニューアルされ、“だばぁ”の悲劇がとっくに改善されていたのです。あの容器構造最後の一角のペヤング先生が折れて以来、当所でも比例するように“だばぁ”は激減し、事故も無くなりました。

ただひとつの心配は、同レターにも書いた“大人の階段を登らせてくれる”というものが無くなった事。つまり平坦な道のやきそばです。これから「だばぁを知らない子供達」は逞しく成長し、立派な大人になることができるのでしょうか？心配で心配で、ヤキソバンに思いを馳せたり、マヨビームを求めたりしてしまうのではないですか！（俺の塩）を1分では無く、3分で作ってしまう事に気をつけるくらいしか残ってないぞ…）



ようこそ、サイエンスフィクション

当所に不思議ですっごいメカ（表現が古い！）がやってきました。私自身もものを把握しておらず、いったいなんなのかわかっていません。外見を喩えるならガンダムやスターウォーズ、タイムボカンに出てきそうな基地みたいだな、というもの。（実物大ではありませんので念の為。）果たしてこれで何ができるのか。何がどうなのか。やっぱりわかりません。唯一分かるのはこのメカを開発し、持ってきてセッティングしてくれたのは M i m a k i という会社さんであること。こちら様には日頃からお世話になっています。今回のそれ以外には大きな出力機があります。これは、横幅 1m 以上のものが印刷できる機械です。早い話がでっかい印刷機で、



いわゆる業務用。当所の仕事の大半はこれで印刷しています。そしてカッティングマシン。これまた特殊なフィルムを、データ通りに精密に切り抜いてくれるとても優秀なもの。目見当 0.1mm 以下の単位でカットできるので、たいへんに重宝しています。常々、「これを造った人はすごい！」と唸っています。

そこまで活躍してくれているのだから、きっとこの基地(?)も、すんばらしいものに違いありません。今から楽しみにしています。扱う自信はぜんぜん無いけど(笑)。

追記・さてこれの正体は——《オンデマンド生産》《ダイレクトプリント》《バリアブルドット》……………
……………???

ああ、“なんにでも印刷できちゃうマシン”ね！

編集後記

振り返ればあっという間の一年間です。毎年毎年思ってしまうのですが、これも一年間無事に過ごせたと言う証なのでしょう。今年も月刊地球基地にお付き合い下さった事と、アースベースにご縁があったことを大変にありがたく想い、感謝いたします。来年もどうぞよろしくお願いします。

【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE
健常者と障がい者が一緒になってサイン・看板を製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL : 03-5875-5941 FAX : 03-5875-5942 mail : info@earth-b.jp URL : <http://www.earth-b.or.jp/>